

茨城の銘石  
made in ibaraki

# 羽黒青糠目石

青くきめ細やかな石肌  
気品と重厚感ある最高級石材

茨城の銘石  
made in ibaraki

長い歴史を誇る伝統的名産品  
【常陸の御影石】  
茨城県石材業協同組合連合会

## 【羽黒青糠目石】

北に日光連山、南に筑波山を望む  
茨城県桜川市の羽黒地区で  
高級墓石材として知られる羽黒青糠目石が採掘されます。  
日本を代表するこの石材はこの羽黒地区のみで産出し、  
地表から約三〇メートルの地層でしか採掘できない  
たいへん希少価値の高い御影石です。  
米糠のようなきめ細やかな石目、青く気品のある色合い、  
経年変化のない繊細な輝きが、  
古来より多くの人々を魅了し続けています。

H A G U R O A O N U K A M E I S H I







◎墓所／花田家



◎墓石／五輪塔



◎モニュメント／彫刻(ミラン・アンドレエフ作)



◎モニュメント／羽黒駅

## 千年の舟《The millennium ship》 東日本大震災復興モニュメント



「千年の舟」は、東日本大震災後、復興への起点となるようにと願いを込め、茨城県石材業共同組合連合会より茨城県に寄贈されました。全長4.5メートルほどの大きな舟の形をした石のモニュメントは、地元の彫刻家浅賀正治氏が彫刻したものです。現在、大洗アクアワールドに設置されています。

◎モニュメント  
桜川市立岩瀬東中学校  
立志記念制作作品「灯り」



◎歌碑



◎復興支援モニュメント「鮫鯨」  
(北茨城市平潟港設置)

## 【代表作】

羽黒青糠目石の青く深い輝きは、人を優しく包み込むような豊かな表情に溢れ、海外の彫刻家にも高く評価されています。



羽黒青糠目石は、庵治石(香川県)、本小松石(神奈川県)と並ぶ、日本の三大最高級銘石と称されています。他に類を見ないきめの細かい石目と、青みがかった深みのある輝きが、独特の気品と重厚感を生み出します。そのきめ細かさで緻密さから風化にも強く、いつまでも変わらない美しさを保ちます。高級墓石を中心に、彫刻やオブジェ、美術工芸など、幅広く利用されています。

## 【羽黒青糠目石の特徴】

## 【羽黒青糠目石の歴史】

羽黒青糠目石を産出する羽黒地区は、筑波連山北端に位置し、この辺一体は、およそ六〇〇〇万年前にできた花崗岩が分布し、他にも稲田石や真壁石など、日本でも屈指の石材産地を形成しています。羽黒地区の石材業は明治三五年に本格的に企業化され、今日の発展の基盤が築かれました。古くから採掘や加工などの高度な技術が蓄積され、伝統の技が生きた数々の銘品が生まれています。

